



〔 MEPマイクロカプセル剤 〕

ヤシマ スミパインMC

有効成分：MEP（PRTR・1種 251）…23.5%

登録番号	第 19148 号
性状	淡黄色粘稠液体
魚毒性	B類相当
危険物	—
有効年限	3年
包装	120缶

◎特徴 松くい虫防除剤として効果、安全性に定評のあるMEP（スミチオン）のマイクロカプセル剤。残効性が向上して「マツノマダラカミキリ成虫発生初期」の1回散布で有効。その他、自動車等の塗装汚染、臭気の低減。消防法上の規制対象外など使いやすさが向上。

◎使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	MEPを含む農薬の総使用回数
まつ (生立木)	マツノマダラカミキリ成虫	5倍	6ℓ/10a	成虫発生初期	3回以内	空中散布	6回以内
		2.5倍	3ℓ/10a				
		15倍	18ℓ/10a				
		20倍	24ℓ/10a			散布	
		50倍	3ℓ/本 (樹高10m)				
		2.5～5倍	3ℓ/10a				
ヤシ類	ヤシオオオサゾウムシ成虫	50倍	5ℓ/本 (葉柄基部直径1m)		6回以内	樹頂部に散布	

◎使用上の注意事項

- 本剤を空中散布液剤として使用する場合は、次の注意を守ること。
 - 散布は各散布機種種の散布基準に従って実施すること。
 - 無人ヘリコプターによる散布にあたっては散布機種に適合した散布装置を使用すること。
 - 散布中薬液が漏れないように、機体の散布用配管、その他散布装置の十分な点検を行うこと。
 - 特定の農薬（混用可能が確認されているもの）を除いて原則として他の農薬との混用は行わないこと。
 - 散布終了後は次の事項を守ること。
 - 使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に廃棄すること。
 - 機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。
- 本剤によるマツノマダラカミキリ成虫防除は後食防止を目的とするものであり、成虫発生初期に時期を失ないように散布すること。
- マツノマダラカミキリ成虫に対する50倍液の地上散布の単木処理をする場合、散布液量は、樹高10mの松1本当たり3ℓを標準とし、木の大きさにより適宜増減し、樹冠部を中心に全面に散布すること。
- ヤシオオオサゾウムシ成虫に対する50倍液の地上散布を単木処理をする場合、散布液量は、目安として幹先端の葉柄基部直径1mに対して5ℓを標準とし、木の大きさにより適宜増減し、散布すること。
- ひのきに対しては個体によって落葉、枯損にいたるおそれがあるので、付近にある場合にはかからないように注意して散布すること。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことを注意すること。
 - ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散する恐れがある場合には使用しないこと。
 - 養蜂が行われている地区では都道府県の畜産部局と連絡し、ミツバチの危害防止に努めること。
- 本剤を広範囲に使用する場合は、散布薬液の飛散によって他の動植物（特にあぶらな科作物、桑、さといも、ソルゴ等の農作物、養蚕、養蜂）に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意すること。
- 本剤は自動車、壁およびカーポートなどの塗装面、大理石、御影石に散布液がかかると変色する恐れがあるので、散布液がかからないよう注意すること。
- 水源池、飲料用水、養殖池等に本剤が飛散・流入しないように十分注意すること。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は環境に影響を与えないよう適切に処理すること。

◎安全使用上の注意

- 本剤の解毒剤としては硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤の投与が有効であると報告されている。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換すること。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- かぶれやすい体質の人は取り扱いに十分注意すること。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。

治療法……硫酸アトロピン製剤またはPAM製剤の投与が有効。

魚毒性……水産動物、特に甲殻類に影響を及ぼす恐れがあるので、十分注意して散布する。

保管……密閉し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼な所。